

イヌバシール®併用 端部シール用シリコーン接着テープ

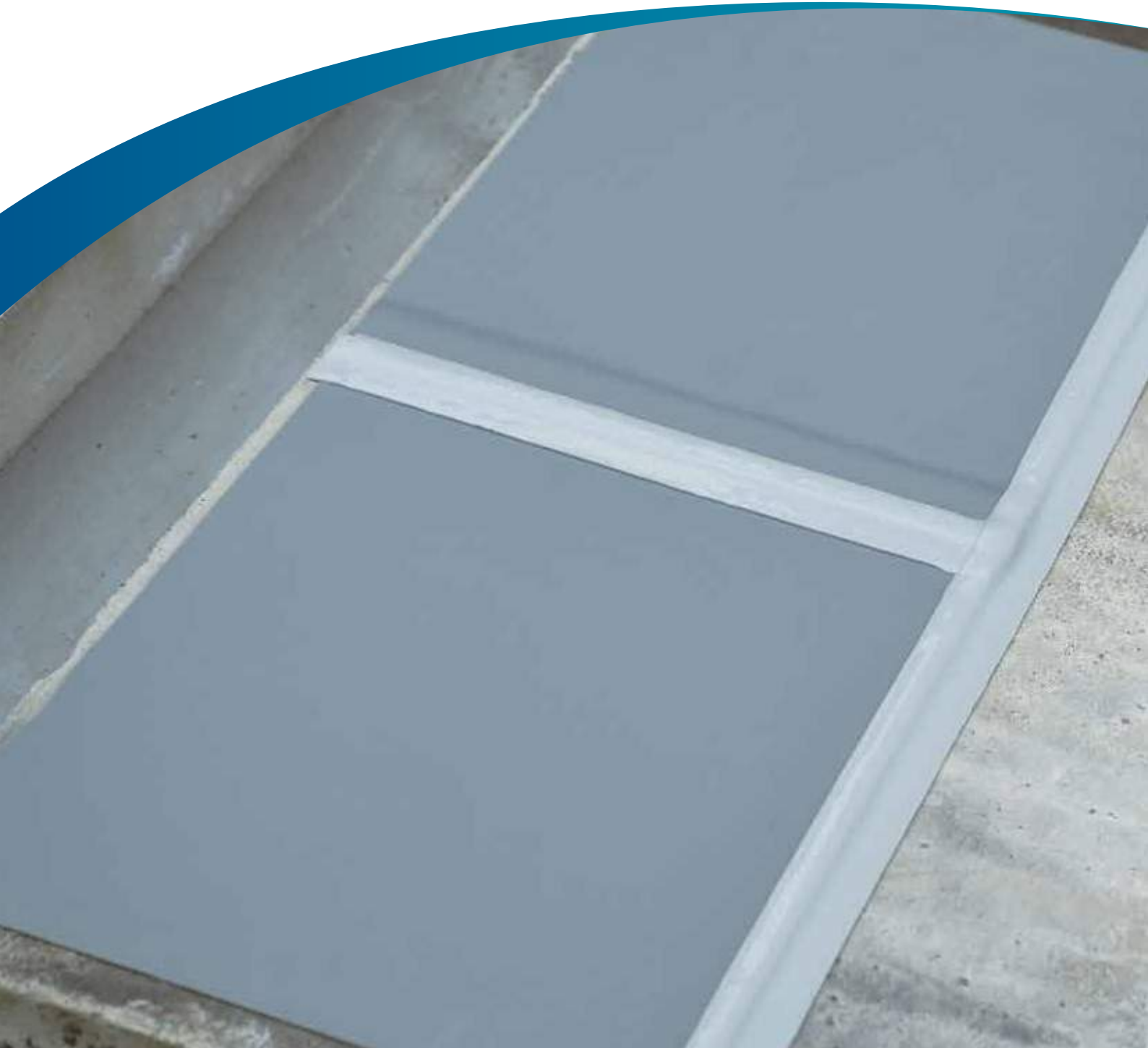
# イヌバテープ®

シンエツ パッチシール®併用 端部シール用シリコーン接着テープ

# シンエツ パッチテープ®

**ShinEtsu**

信越シリコーン



# イヌバテープ®、シンエツ パッチテープ®は、 イヌバシール®、シンエツ パッチシール®の 端部・重ね合わせ部分の仕上げに併用する シリコン接着テープです。

イヌバテープ、シンエツ パッチテープは、  
同仕様の製品です。

貼り付け後、一昼夜で硬化接着し、  
イヌバシール、シンエツ パッチシールにも  
モルタル土台面にも強固に接着します

コーキングガン・マスキングテープが不要で、  
誰でも簡単にきれいに施工できます

パテ状物なので、隙間への充填も可能です

廃棄物が少なく、環境にも優しい製品です

## 包装・標準製品サイズ

製品名称:イヌバテープ(25mm×3000mm)またはシンエツ パッチテープ(25mm×3000mm)

### ●包装

アルミ防湿パック1袋に1巻入り



### ●標準製品サイズ

イヌバテープ、  
シンエツ パッチテープ共に  
幅25mm×長さ3000mm  
片面にピンク色のセパレータフィルム付。  
被着体に貼り付け後、セパレー  
タフィルムを剥がします。

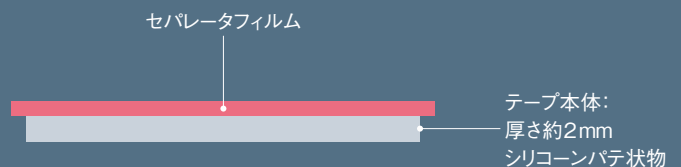


## 一般特性

### ●硬化前(シリコンパテ状物)

色調	セパレータフィルム	ピンク
	テープ本体	ライトグレー

## 構造



### ●硬化後(シリコンゴム)

試験項目		環境条件	養生日数	測定値	備考
物性	硬さ	23°C/50%RH	8日間	45	JIS K 6249、Aタイプ
	引張強さ			5.4MPa	JIS K 6249
	伸び			730%	
	引裂強さ			16kN/m	JIS K 6249、アングル型
接着性	対モルタル	23°C/50%RH	8日間	22N	180度 剥離、テープの幅 10mm
		40°C/95%RH		17N	180度 剥離、テープの幅 10mm
	対イヌバシール、 シンエツ パッチシール	23°C/50%RH	8日間	47N	180度 剥離、テープの幅 10mm 50N前後で治具より剥離
	対イヌバテープ、 シンエツ パッチテープ		12日間	65N	180度 剥離、テープの幅 10mm

(規格値ではありません)

## 施工例と採用ポイント

イヌバテープ®、シンエツ パッチテープ®は、イヌバシール®、シンエツ パッチシール®の併用材料として、さまざまな施工箇所採用されています。

### イヌバテープの施工例

- 屋外タンク犬走り部分雨水浸入防止用「イヌバシール」端部・重ね合わせ部分のシール



- 屋外タンクアンカーボルトシャフトの根元・ボックス上部のパテの代替



#### 採用ポイント

シリコンシーリング材と比較して作業効率がアップし、仕上がりも良好のため

### シンエツ パッチテープの施工例

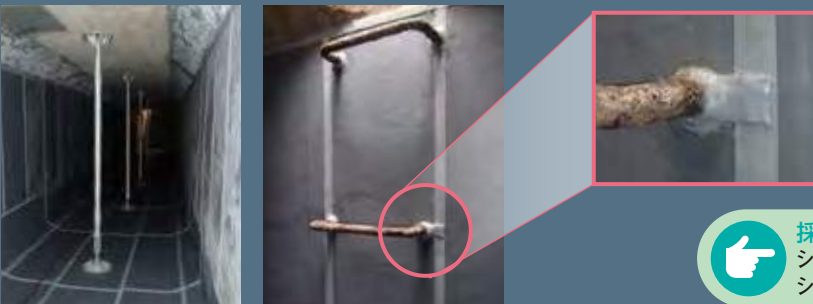
- ボックスカルバート内側ジョイント部「パッチシールクロス」端部・重ね合わせ部分のシール



#### 採用ポイント

天面への施工が簡単だったため

- 地下防火水槽内面「シンエツ パッチシール」端部・重ね合わせ部分シールと はしごシャフト根元シール



#### 採用ポイント

シート同士の端部突合せ部分のシールが容易で、パテのように施工が可能だったため



# イヌバシール<sup>®</sup>、シンエツ パッチシール<sup>®</sup>の施工手順

## イヌバシール<sup>®</sup>、シンエツ パッチシール<sup>®</sup>の敷設

### Process 1

#### 下地調整

被着面は、二種ケレン<sup>※</sup>程度に調整します。

※下地が出るまで電動工具や手工具で塗料やさびを除去すること。



### Process 2

#### 清掃

被着面を手のひらでなぞり、  
粉などが付着しない程度に清掃します。



### Process 3

#### 水分除去

バーナーやブローアなどで被着面を乾燥させます。

火気使用不可の場合はウエスなどでよく拭き取ります。

●表層が湿潤の場合、イヌバシール、シンエツ パッチシールの粘着力・接着力が十分に発揮されません。



### Process 4

#### イヌバシール、シンエツ パッチシールの敷設

被着面との間にエアを巻き込まないように注意します。  
ローラーを使うのも有効です。特に重ね合わせ部分はしっかりと押さえ付けてください。この段階で端を少量つまみ上げて強い粘り気のある状態であれば大丈夫です。



シートの粘着力：  
敷設面は、強い粘り気のある状態

※イヌバシール、シンエツ パッチシールについては、別途カタログをご参照ください。

## イヌバテープ<sup>®</sup>、シンエツ パッチテープ<sup>®</sup>の貼り付け

### Process 5

#### 清掃

貼り付け面をアルコールなどで清掃し乾燥させます。

●洗剤を使わないでください。

●貼り付け面は素手で触らないでください。手袋の着用を推奨します。



### Process 6

#### 重ね合わせ部分への貼り付け

包装を開封します。開封後は、30分以内を目安に使い切ってください。

●空気中の水分と反応して硬化と接着が進行しますので、  
開封後は早めに使い切ってください。

重ね合わせ部分から貼り始め、  
適当な範囲まで貼り付けてからはさみでカットします。



### Process 7

#### 押さえ付け

セパレータフィルムの背面から指先と小型ローラーでまんべんなく押さえ付けます。





## Process 8

### セパレータフィルムを剥がす

セパレータフィルムを180度の方向に静かに引き剥がします。

●真上に引っ張ると、浮き上がることがありますので、ご注意ください。



## Process 9

### 端部への貼り付け

端部も同様に貼り付けます。



## Process 10

### テープ同士の重なり部分の押さえ付け

セパレータフィルムを使って  
上からしっかり押さえ付けてください。



## Process 11

### 完成

表面が硬化するまでは触らないでください。  
このまま一昼夜おいて完成です。



イヌバシール、シンエツ パッチシールとの併用



パッチシールクロスとの併用

## 取り扱い上の注意事項

1. 貼り付け面に水が付着している状態は避け、表面の乾燥を確認した上で施工してください。
2. 貼り付け面では、さび、ごみ、繊維、砂、小石、油分、水滴などを取り除いてください。イヌバシール、シンエツ パッチシールの表面はエタノールでの清掃が効果的です。洗剤による洗浄は接着には逆効果になりますので、使用しないでください。
3. アルミ防湿バックを開封すると、空気中の水分との反応して硬化が始まります。開封後は、30分以内を目安に使い切ってください。再度、保存することはできません。
4. 低分子シロキサン対策品ではないため、電気・電子用途には使用しないでください。

## 安全・衛生上の注意事項

1. 未硬化状態のイヌバテープ、シンエツ パッチテープは、皮膚刺激性を有するので、皮膚・粘膜に付着しないように、ゴム手袋、安全めがねなどの保護具を着用ください(その際、繊維系手袋を使用しますと、繊維が接着劣化の誘因となりますので、使用しないでください)。皮膚に付着した場合、ウエスなどで拭き取ってから、直ちに流水で十分に洗い流してください。万一目に入った場合は、直ちに大量の水で洗い流し、必要に応じて医師の診断を受けてください。また、コンタクトレンズ着用者は、誤って目に入った場合、目に固着することがありますので、特にご注意ください。
2. イヌバテープ、シンエツ パッチテープは、硬化時にメチルエチルケトオキシム(MEKO)を発生しますので、取り扱いの際には換気を十分に行い、蒸気の吸入を避けてください。蒸気の吸入の恐れがある換気の悪い場所での使用は避けてください。もし、蒸気を吸入して気分が悪くなったときは、直ちに新鮮な空気場所に移動してください。
3. 子供の手の届かないところに保管してください。
4. 使用前には安全データシート(SDS)をお読みください。SDSは、担当営業部署までご依頼ください。

イヌバテープ、シンエツ パッチテープについてのお問い合わせは

本社 シリコン事業本部 〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-1 朝日生命大手町ビル  
 営業第三部 ..... ☎ (03)3246-5101

大阪支店 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-11-4 損保ジャパン日本興亜肥後橋ビル... ☎ (06)6444-8226

名古屋支店 〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-5-28 桜通豊田ビル ..... ☎ (052)581-6515

福岡支店 〒810-0001 福岡市中央区天神1-12-20 日之出天神ビル ..... ☎ (092)781-0915

ご用命は

- 当カタログのデータは、規格値ではありません。また記載内容は仕様変更などのため断りなく変更することがあります。
- ご使用に際しては、必ず貴社にて事前にテストを行い、使用目的に適合するかどうかご確認ください。なお、ここで紹介する用途や使用方法などは、いかなる特許に対しても抵触しないことを保証するものではありません。
- 当社シリコン製品は、一般工業用途向けに開発されたものです。医療用その他特殊な用途へのご使用に際しては貴社にて事前にテストを行い、当該用途に使用することの安全性をご確認のうえご使用ください。なお、医療用インプラント用には絶対に使用しないでください。
- このカタログに記載されているシリコン製品の輸出入に関する法的責任は全てお客様にあります。各国の輸出入に関する規定を事前に調査されることをお勧めいたします。
- 本資料を転載されるときは、当社シリコン事業本部の承認を必要とします。



当社のシリコン製品は品質マネジメントシステムおよび環境マネジメントシステムの国際規格に基づき登録された下記事業所および工場にて開発・製造されています。

群馬事業所	ISO 9001 ISO 14001 (JQCA-0004 JQCA-E-0002)
直江津工場	ISO 9001 ISO 14001 (JQCA-0018 JQCA-E-0064)
武生工場	ISO 9001 ISO 14001 (JQA-0479 JQA-EM0298)

<http://www.silicone.jp/>